

# 砺波のタクシー2社合併

とнами観光交通  
フラワー交通  
ライバル連合で難局打開



砺波市に本社を置くタクシー会社のとнами観光交通とフラワー交通は十

八日、来年二月二十一日に合併すると発表した。タクシー台数は市内の75%を占める。燃料高騰に加え、市外からの参入組との運賃競争も激しく、ライバルだった地場の二社が一体となって経営を効率化し、難局を乗り切る。とнами観光交通を

取締役就く。とнами観光交通会長の今井司氏は会長職を務める。

砺波市の二チマ倶楽部で開かれた会見。写真には余西社長と今井会長、山本取締役が出席し、余西社長は「砺波で生まれ育った二社の対等合併で、スケールメリットを生かし、経営の合理化を図りたい」と述べた。

とнами観光交通は従業員六十人、今年三ヶ月の売上高二億八千万円。フラワー交通は従業員十六人、同期売上高六千七百

存続会社とする新会社を設立させ、車両の行灯も「とнами観光交通」に統一する。タクシー保有台数はとнами観光交通が三十三台、フラワー交通が十四台で、合計四十七台は、県西部では高陵タクシー(高岡市)と並んで二位の規模となる。

新会社では、とнами観光交通の余西孝社長が代表権を持ち、フラワー交通取締役の山本吉弘氏が